

大阪北部地震から1年

そして、また大きな地震が・・・

昨年の6月18日、午前7時58分、大阪北部を震源とするマグニチュード6.1、最大震度6弱の地震が発生し、関西地方に大きな被害をもたらしました。また、この地震は、通勤・通学時間帯の事であり、登校中の9歳の女子児童が倒壊したブロック塀の下敷きになり、未来ある尊い命が失われました。さらに、公共交通機関が一時は全面的に運行できず、都市型災害の課題も改めて顕在化しました。

長町中学校では、先日、地震を想定した避難訓練と集団下校訓練を行いました。生徒達の訓練に対する行動は機敏で、大人数にもかかわらず、教室から校庭までの避難時間は、4分弱という早さでした。「早ければ良い」という事ではありませんが、教員の指示をしっかりと守り、冷静に対処し、混乱する事なく行動できたことは、とても意義あることだと思います。

長町中学校は、東日本大震災の翌年から3年間、仙台市の防災教育モデル校として、市内小中学校の防災教育の拠点となり、訓練の質の向上や地域の方々との助け合い等で、先進的な取り組みを行ってきました。現在でもモデル校だった当時の取り組みの成果と課題を基盤に、防災の意識を高く持ち、10月～11月に実施する地域防災訓練や「わが町絆学習」等にも意欲的に取り組んでいます。生徒達が参加するボランティア活動も新たな伝統として根付き、「ともに!チーム長町プロジェクト」等や小学校区で実施される各種イベントにも積極的な参加が目立つようになりました。これらの訓練や地域貢献活動は、自分の命を自分自身で守ろうとする「自助」の意識として、共に助け合う「共助」の意識として、さらには、実際の行動として、今後ずっと持ち続けてほしいと願っています。これらは、防災だけに限らず、命の大切さを考えることにもなると考えております。

そんな矢先、大阪北部地震のちょうど1年後の先日、今度は、日本海側で大きな地震が発生しました。午後10時22分頃、マグニチュード6.7、新潟県村上市では、震度6強、山形県鶴岡市では6弱を記録しました。近年の主な地震を表にしてみました。東日本大震災はこの中でも、突出

した災害であった事が分かりますが、被災地の方々にとっては、心身に受けた大きなダメージは、今も変わらないのではないかと思います。

生徒達の学校の訓練と同様、ご家庭でも防災について話題にしていなければ幸いです。

1995年	1月17日	阪神淡路大震災	M7.3	震度7
2003年	9月26日	十勝沖地震	M8.0	震度6弱
2004年	10月23日	新潟県中越地震	M6.8	震度7
2005年	3月20日	福岡県西方沖地震	M7.0	震度6弱
2007年	3月25日	能登半島地震	M6.9	震度6強
2007年	7月16日	新潟県中越沖地震	M6.8	震度6強
2008年	6月14日	岩手・宮城内陸地震	M7.2	震度6強
2011年	3月11日	東日本大震災	M9.0	震度7
2016年	4月14日	熊本地震	M7.3	震度7
2016年	10月21日	鳥取中部地震	M6.6	震度6弱
2018年	6月18日	大阪府北部地震	M6.1	震度6弱
2018年	9月6日	北海道胆振地方地震	M6.7	震度7
2019年	2月21日	北海道胆振地方地震	M5.8	震度6弱